

イドコロ のあるイス

欧米では、靴を脱ぐ習慣がないことからソファやダイニングチェアなど座れる居場所が限られている。

一昔前の日本は、ちゃぶ台を囲み、くつろぐように座ったり、畳の上で寝転がったり気の向くままに座っていた。

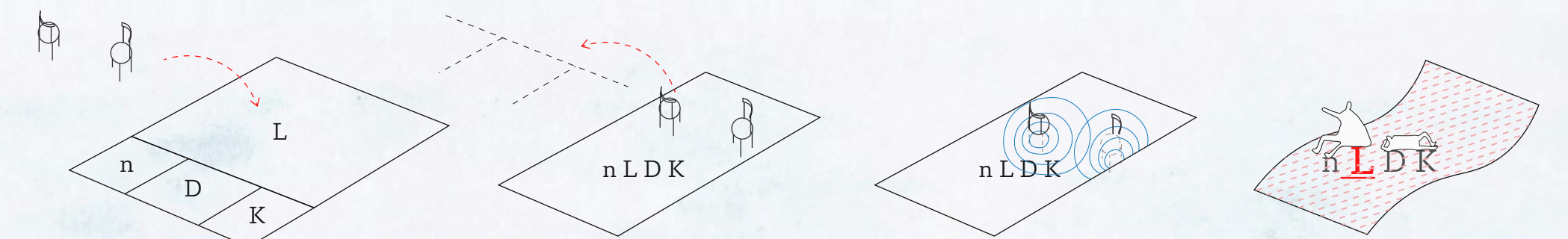
しかし、その様式は衰退し、今では限られた座るという行為や座るモノの中で暮らしている。

そこで私たちは、暮らしの中に座る居場所を見つけて、自然と座る行為を誘発する。そんな椅子が主役の新しいカタチを提案する。

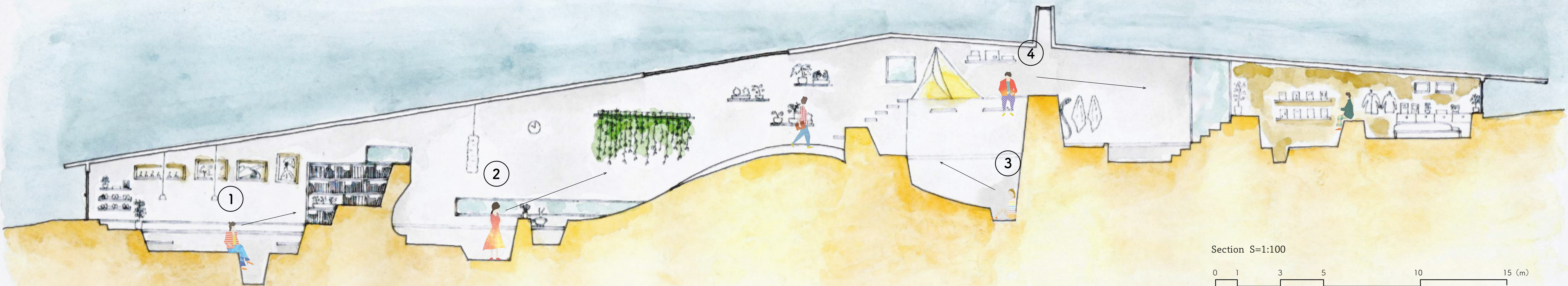
□ テーマカラー 受け皿となる“白”

抽象的な色によって、人によってイドコロの捉え方が変わること、多様なイスの空間の使われ方を期待する。

□ 空間を構成するイス

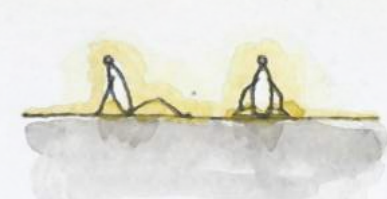


イスが居室と等価になる。そして、日常の行為の大半を占めることで見えない主役となる。

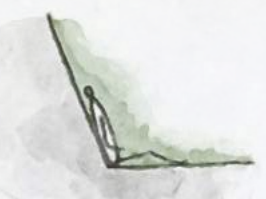


□ 16 の イドコロ

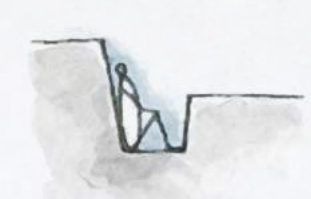
フラット



75° のトコロ



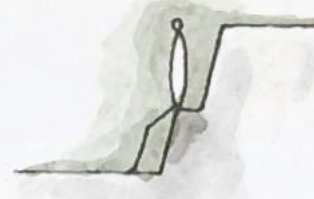
ちょうどいいクボミ



架け橋



ひと休み



シアター



肩とワタシ



ナナメの丘



大木の下タマリ



抱擁するカベ



高みの見物



窮屈なスキマ



ほおづえ



ひじ掛け



逆さまのセカイ



前のめり

